

平成29年度

決算報告

平成29年度の決算が第3回南牧村議会定例会において認定されました。

一般会計の決算額は、歳入総額25億9,549万円で対前年度比は12.4%の増、歳出総額24億5,279万円で対前年度比は、18.7%の増となりました。歳入歳出差引額1億4,270万円から平成30年度へ繰り越した1,982万円を差し引いた残りの1億2,288万円が黒字となりました。

依然として厳しい財政状況ではありますが、引き続き行財政改革に取り組みその成果を村づくりを活かしていきます。

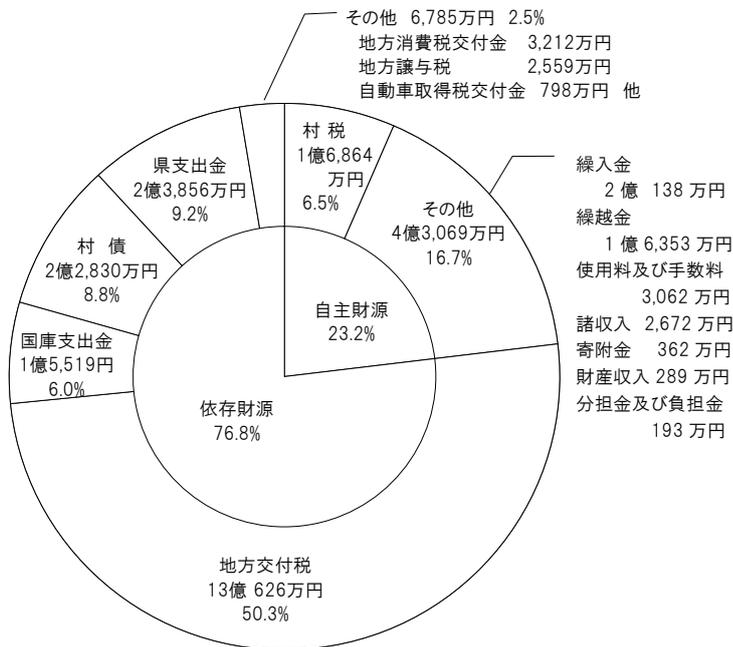
歳入総額 25 億 9, 549 万円

歳入総額は、前年に比べ2億8,531万円の増となりました。貴重な自主財源である村税収入は、法人税で増収があったものの固定資産税、たばこ税が減収したため、402万円(2.3%)減の1億6,864万円となりました。

一方、県支出金は、小規模特別養護老人ホーム整備等により、9,294万円(63.8%)増の2億3,856万円となりました。

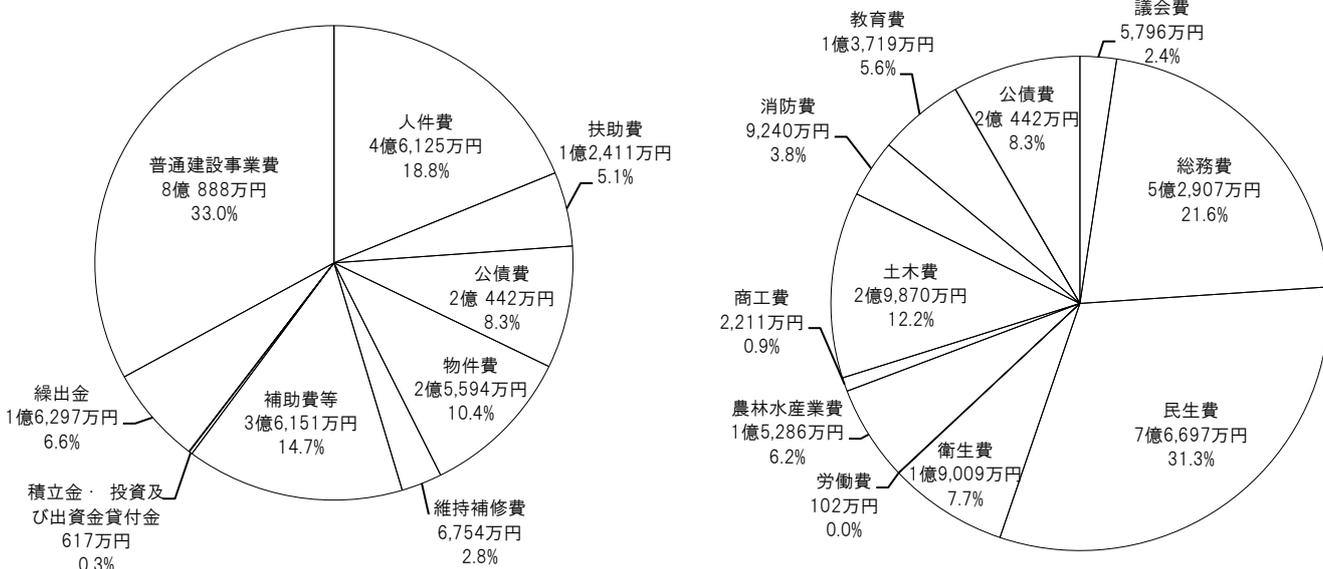
歳入の大半を占める地方交付税は、6,322万円(4.6%)減の13億626万円で、2年連続の減となりました。

財源不足を補うため、財政調整基金を2億円取り崩して繰り入れました。



歳出総額 24 億 5, 279 万円

歳出総額は、前年に比べ3億8,614万円の増となりました。小規模特別養護老人ホーム、定住拠点住宅整備により、普通建設事業費が4億5,534万円(128.8%)増の8億888万円となり、投資的経費が歳出の約3割を占めました。これにより民生費が2億3,699万円(44.7%)、土木費が1億1,435万円(62.0%)増となりました。



平成29年度の主な事業

生活環境基盤の整備充実

定住促進住宅整備事業	69,660千円
多世代交流カフェ整備事業	68,145千円
村道高原線改良事業	58,130千円
テレビ・インターネット運営事業	40,864千円
乗合バス・タクシー運行事業	21,488千円

少子高齢化対策

小規模特別養護老人ホーム整備事業	357,066千円
子育て応援事業(保育料・給食費免除等)	4,440千円
75歳以上乗合バス・タクシー無料化事業	3,453千円

防災対策の充実

消防緊急・偵察用バイク購入	3,080千円
---------------	---------

福祉・健康増進施策充実

心身障害者福祉事業(障害介護給付費等)	65,958千円
児童福祉事業(保育園委託費、児童手当等)	40,422千円
住民健診・予防接種事業	12,959千円
高齢者福祉事業(敬老祝金、敬老会等)	6,215千円

産業振興の充実

林道作業道総合整備事業	19,436千円
尾崎地区排水路整備事業	10,152千円
有害鳥獣駆除事業	3,795千円

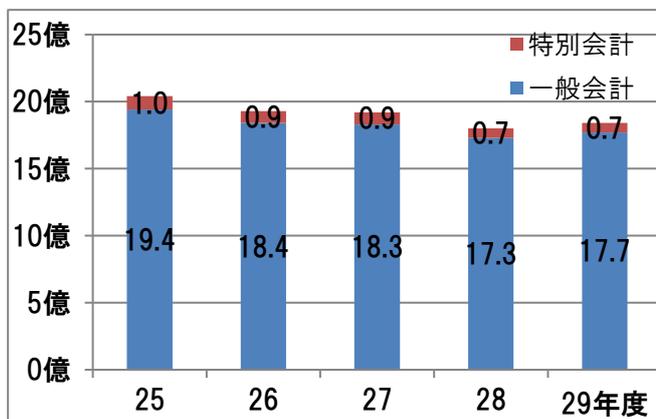
教育の充実及び文化財の保護・整備

学校整備事業	8,694千円
民俗資料館管理運営事業	2,642千円

村債(借入金)残高の状況

村債の平成29年度末の残高は、一般会計が17億7,002万円、特別会計が6,601万円となりました。投資的経費の拡大により新規借入が増えた為、一般会計で3,788万円増となりました。

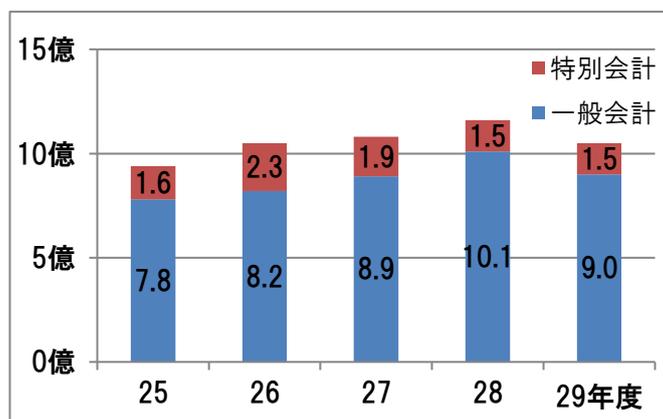
引き続き財政運営上有利な起債を活用し、後年度の財政負担を勘案した村債の発行に努めます。



基金(積立金)残高の状況

基金の平成29年度末の残高は、一般会計が8億9,527万円、特別会計が1億4,999万円となりました。このうち財源調整のための財政調整基金は、7億5,904万円で、1億1,966万円減少しました。

今後も災害等の不測の事態や人口減少による収収減等に対応する為、一定程度は維持するよう努力していきます。



特別会計の状況

会計	歳入	うち一般会計繰入金		歳出	差引額
国民健康保険特別会計	3億2,959万円	1,579万円		3億579万円	2,380万円
簡易水道特別会計	3,114万円	751万円		2,944万円	170万円
自然休養村特別会計	38万円	38万円		38万円	0万円
生活排水特別会計	3,393万円	1,722万円		3,393万円	0万円
介護保険特別会計	5億9,218万円	9,747万円		5億9,202万円	16万円
後期高齢者医療特別会計	4,707万円	2,462万円		4,707万円	0万円